

《参加者の感想》

◆桜馬場中学校2年 S. A. ◆

私は、今回初めて外国に行きました。初めての外国で戸惑いもありましたが、事前研修などで同じ班の人などと打ち解け、出発の1週間前くらいからは、楽しみという気持ちの方が大きかったように覚えています。

出発当日は、友達と一緒に集合場所に集まり、「楽しみだね」と話していました。大村空港では、飛行機が遅れるというハプニングもありましたが、その日のうちに中山市に着くことができました。

夜ごはんは人生初の広東料理で鳥の頭や魚が丸ごと出てきて驚きました。ホテルに着くまでは約2時間かかり疲れたけれども楽しかったです。2日目は、最初に孫文の生家を見学しました。

日本の家とは全く似ておらず、玄関で靴を脱ぐという習慣がないという事を感じました。孫文の生家に行った後は、華僑中学校に行きました。バスを降りると、華僑中学の生徒が待っていてくれて、ある女の子は“日本語で”案内してくれたので感心しました。その後から、一緒に過ごすことができ、たくさん英語で会話することができました。ホストファミリーもとても良い人だったので本当に楽しかったです。

3日目の夜ごはんも、私が肉を食べたいと言ったので、「JUNE」というお店に連れていってくれました。とてもおいしく頂きました。ホストファミリーや華僑中学校の学生とのお別れは悲しかったけれど、とても良い経験になりました。また、万里の長城や上海の景色など、初めて中国に行った私にとっては、とても貴重な体験をすることが出来ました。他にも英語を使って、違う国の人とコミュニケーションをとる難しさが分かったと同時に、自分の言いたい事が伝わったときの喜びや楽しさも分かりました。

私は心から子ども夢体験に参加して良かったと思っています。この経験を活かし、色々がんばっていこうと思います。本当にありがとうございました。

◆長崎東中学校3年 R. I. ◆

私はこの研修が初めての海外で、見るもの触れるもの全てが新鮮でした。

特に印象に残っているものが3つあります。

1つ目は華僑中学校の人たちとのホームステイです。初めは、知らない土地で、国が違って言葉の通じない人の家に泊めていただくということで不安でいっぱいでした。しかし、実際はそんな心配は一切不要でした。ホストファミリーのお父さんは笑顔で迎え入れてくれて、「日本に行ったことあるよ」「おすしが好きだよ」とスマホの翻訳アプリを活用して積極的に話しかけてきてくれました。おかげで私の緊張もすっかりなくなりました。中国のくらしを身を持って体感できた、とてもいい機会でした。また、2泊3日の短い期間でしたが、すっかり家族の一員になれた気がします。

2つ目は大使館への表敬訪問です。大使館では、中国で食べられる魚は長崎から届いているものが多いこと、面積はテニスコート200面分もあることなど興味深いお話を聞くことができました。また公使の方のお話の中にあつた、「日中の仲のよさは、いろいろなも

のでできあがっている」という言葉は、日中関係を政治の面ばかりで考えていた私の考えを大きく変えてくださいました。その他にも、大使用のいすに座らせてもらったりして二度と経験することができないようなこともでき、とても楽しかったです。充実した訪問にすることができたと思います。

3つ目は万里の長城の観光です。宇宙から見える唯一の人工物である万里の長城はやはり写真や映像で見るのとは格段に違うスケールでした。とても人の多い中でしたが、明の時代に作られたものが、まだ実在していること、そしてそれを自分が踏みしめているということについて何だか感動し、歴史のすごさを実感しました。お天気が少し心配でしたが、いい気候で良かったです。自分の足で万里の長城を登りきったので、英雄になれたのではないかなと思います。

今回の中国訪問で今まで自分が見てきた世界がいかに小さいものだったか実感させられました。中国についても私が知っている中国はテレビの中での中国だけで、たびたびニュースに出てくるような政治問題で勝手にマイナスイメージを持っていました。でも実際はそんなことはなく、観覧車に乗り合わせた家族連れさんも「Welcome to China!」と声をかけてくれる優しい国でした。もっと広い視野を持つことが私には必要だなと感じました。

また、この8日間の間で、大使館の方、CAの方、JICAの方など、たくさんの海外で活躍していらっしゃる日本人の姿を目にすることができました。私も将来はそのような、日本と海外をつなぐような存在になりたいと思うようになりました。この体験を今後の自分の生活、そして将来にしっかりと生かしていきたいです。

◆海星中学校2年 S.U.◆

今回の子どもゆめ体験を通して特に印象深いことは、ホームステイをしたことです。最初、自分は中国語や英語が通じるかどうか心配でした。しかしホストファミリーの方が優しい英語でたくさん話しかけてくれたことで僕との壁を取り除いてくれたような気がします。言葉が通じなかったけれど日本語を言うと中国語に変わるアプリを使って多くのことを伝えることが出来ました。帰ってからたくさん連絡を取り合っています。二日間という短い期間だったけれど、とても楽しい時間を過ごせました。

次に六日目に行った万里の長城がとても記憶に残っています。それはテレビや教科書などで見るよりもとても壮大で美しい景色でした。自分は男坂という坂に行ったのですが、とても険しく、階段でさえ傾斜角度が大きく、手すりを使わないと登ることができない程すごかったです。それを昔の人が作ったと聞いた時とてもおどろきました。戦に行く前に万里の長城でつかれきってしまうと思います。また行く機会があれば行きたいです。

自分は今回の子どもゆめ体験を通して、もっと語学を勉強したいと思いました。ホームステイの時に自分の伝えたいことを言えずに帰ってしまったことが心残りです。もっと語学力を高めることが出来れば、世界が広がると思います。最後に家族、ホストファミリー、華僑中学校の方々、友達、そして市役所の方々、私の子どもゆめ体験を実りあるものにしてくれた人々に感謝しています。その気持ちを忘れずに、これからもいろいろなことに挑戦していきたいと思います。そして夢を追いかけたいと思います。

◆桜馬場中学校2年 H. U. ◆

私が子ども夢体験に参加しようと思った理由は、将来の夢である「通訳」に一步近づくためです。初めての海外でもあり、ニュースなどを見て、中国の環境問題や政治に関する問題から不安な気持ちがとても大きかったです。実際現地に行ってみると、私が想像していたものとは違う景色が広がっていて安心しました。そして、中国の方が温かく迎えてくれてとてもうれしかったです。

私はこの7泊8日の研修の中で、たくさんのことを学ぶことができました。特に印象に残っているのは、華僑中学校の生徒との交流やホームステイです。言語の違う相手との会話は、自分の気持ちを伝えたくてもなかなか思うようにはいかず、苦戦するときもありましたが、身ぶり・手ぶりで表現し通じ合えたときの喜びは忘れることはできません。華僑中学校の生徒と一緒にやったゲームでは、それまでぎこちなかった関係も一緒にやり遂げることで、ぐっと距離が縮まり、分かり合えたような気がしてとてもうれしかったです。交流最終日の日、華僑中学校の生徒から、「おはよう。」と日本語で言われたとき、本当にうれしくて、挨拶ひとつで、こんなにうれしい気持ちになったのは初めてでした。ホームステイ中には、日本と中国の文化の違いについて詳しく知ることができました。1番おどろいたのは、食事です。ご飯の違いはもちろんのこと、はしも違ってとても貴重な体験をすることができました。今回の交流活動を通して、中国の方の温かさを感じた2日間でした。その他にも、万里の長城や頤和園などを観光して、中国の長い歴史についても知ることができました。万里の長城では、社会の教科書に載っている場所に今いるというすごさに、とても気持ちが舞い上がりました。このような、すばらしい体験と一緒にできた友達に感謝したいです。事前研修会するときもなかなか話せない友達もいて、仲良くなれるかな？という思いがありました。しかし、この8日間でたくさんの友達と仲良くできて、友達の輪も広げることができました。豫園やスーパーマーケットでお土産を買うのも、友達と協力してお金の出し方を学んだり、バスの移動中やホテルでは他愛のない話もたくさんできて、とても楽しい思い出ができました。この7泊8日の現地研修は、長いようであつという間でした。私は8日間で、中国の文化を知ると同時に、日本の良さも感じるすることができました。自分の成長に大きくかかわるであろう体験に感謝し、自分の夢、中国で出会った友達、今回の研修を共にした友達。このような人との出会いをこれからも大切にしていきたいと思います。子ども夢体験に参加できて、本当に良かったです。ありがとうございました。

◆桜馬場中学校2年 M. O. ◆

今回、子どもゆめ体験に参加して私はたくさんを学んだり、考えたりして今までに経験したことのない貴重な体験をさせていただくことができました。

7月25日と8月14日に行われた2度の事前研修では初めて会う子どもゆめ体験参加者のみんなとあまりうちとけることができませんでした。中国の現地研修で活動をしていくうちにいつのまにか協力し合ったり、助け合いながら楽しく研修をすることができました。

2日目の華僑中学校のみなさんとの交流活動では、言葉が通じないという環境で交流活動はできるのかなという不安が正直とてもありましたが、実際に交流をしてみると英語やジェスチャー、スマホのアプリを使いながら華僑中学校についても知ることができ、

私たちが住んでいる長崎の紹介もすることができました。

また、2泊3日体験させていただいた初めてのホームステイでは、私はたくさん不安がありました。ホームステイ先の家族のみなさんがとても温かく迎えてくださったおかげですぐにうちとけることができました。また、中国の方の生活も実際に体験して、日本との違いや同じところをたくさん見つけることができました。

そして、ホストファミリーとお別れの時、お父さんが「とても性格がよくてまるで本当の娘だったよ」と言ってくださってとてもうれしくて、お別れするのがさびしかったです。

7泊8日という長い研修を終えて長崎の良さや中国の良さを感じるすることができました。

◆戸町中学校1年 S.O.◆

私は中国に行ってたくさんの思い出をつくりました。万里の長城でみた景色、外灘で見た完成した上海タワー、豫園で初めて自分で値引きをしたことなどです。その中でも、私を変えるきっかけとなった思い出は、ホームステイ先での交流と華僑中学校の子たちとの交流です。ホームステイ先では、中国語と英語で会話をしていました。ホームステイさせてくれた家族はとても親切でやさしかったです。だから、私はもっと話したいことがあったのですが、上手に話すことができず終わってしまいました。華僑中学校の子と交流した時も相手の子が何とっているのか分からず、もっと会話が出来たら良かったのにと感じました。もちろんいっしょに過ごした時間は、私もすごく楽しかったのですが、もっと私が中国語や英語を上手にしゃべることができたら、それ以上にキラキラした時になったのではないかと考えました。この体験を通して、私はもっともっと中国語や英語を勉強しようと思いました。人一倍努力をして、いつかまた出会った時にたくさんのお話を話せるようにしたいと思いました。そして、最後には夢の日中友好の架け橋になることをかなえたいと思いました。私が今後やっていきたいことは、外国人の方と交流できるきかくや行事に進んで参加することです。少しずつでも夢に向かって前進できるように何事にもチャレンジしていきたいと思います。日本にいたら分からなかったことを夢体験に参加したことで知ることができました。この素晴らしい経験を自分の将来に活かせるように自分が今出来ることを力の限りやっていきたいと感じました。本当にこの夢体験に参加することが出来て良かったです。中国で仲間と共に過ごした一週間は、いつまでも私の大切な思い出として強く残ると思います。夢体験で感じた思いを忘れずこれからもがんばっていきたいです。

◆東長崎中学校2年 H.K.◆

現地研修を終えて、印象に残っていることは2つあります。1つ目は中国は、思っていたより空気がきたなくなかったことです。2つ目は、中国人はとても優しくかったところです。私の思い出は万里の長城に登ったりホームステイなど、この1週間で行ったこと見たことは、全部思い出になりました。学んだことは、中国は交通ルールがあまりないから、信号を渡る時も周りを注意しながら渡らないといけないことを学びました。私の最初の中国や中国人のイメージは、れつにならばない、ぬすむ、うるさいというイメージでした。でも、空気もそこまで悪くなく、町や観光スポットは、思っていたよりきれいでビックリ

しました。中国人はれつにきちんとならぶし、ぬすんだりはしませんでした。でも、やっぱり中国人は、イメージ通りうるさかったです。でも、ほとんどの中国人はとても優しくおどろきました。やっぱり、中国に行った事のない人の中国のイメージはとても悪くから、自分から中国はいい所というのをいろんな人に伝えて、日本での中国のイメージを悪くではなく良いほうにしていけたらいいなあと思いました。日本と中国は、とても関係の深い国だということを、この研修で、もっと知れました。私は、1つおどろいたことがあります。それは、食事をする時は、スプライトとコーラしか飲み物がでてこないから、とてもおどろきました。最初は、水がほしかったけど、だんだんなれると、スプライトやコーラで食事ができるようになりました。中国の車は、白、黒、灰、ベージュ、黄、5つの色の車がほとんどで不思議だなあと思いました。中国は、はでなイメージもあるから、車も、はでかなあと思っていたけど、以外と落ち着いた色の車が多かったです。中国人は、仕事中でもかかわらず電話したり、メールをしたりしてすごいと思いました。日本では、あんまりみかけないので、少しビックリしました。少しあこがれてしまいました。私は少し変わった所があります。それは、自分に自信がついた所です。中国へ行く前は、何でもお母さんに相談して、自分では何にも決められませんでした。中国に行ったら1人だから、お母さんには相談できないから全部自分の判断でやってきました。なので、少し自分に自信がつきました。中華は、油こかったけど少しだけ日本にもありそうな食事もあったので食べやすかったです。白ごはんは味がしなかったの、チャーハンみたいに味がつけばおいしかったです。トイレとお風呂が一緒になってるのには、おどろかなかったんですけど、お風呂にカーテンがホストファミリーの家にはなくておどろきました。シャワーのだし方も、場所によってちがったから、少しめんどくさかったです。日本のように一つのだし方にきょうつうさせてほしいです。ホテルの部屋はとても広いのに電気の数が少なくて、暗かったです。24日に泊まったホテルに冷ぞう庫がなくてビックリしました。私は、本当に研修に参加してよかったと心の底から思います。自分に、自信がつきました。もっとたくさん英語の勉強をしないといけないこともわかりました。中国に対する思いも変わりました。国際交流にもっときょうみをもちました。私は、今後やってみたい事があります。学校のみんな、家族、親せきなどに中国の良い所を教えたり、日本に来る中国人の人には、優しく接してみたいです。もっと深く中国のことを知りたいと思いました。私は将来助産師さんになりたいと思っています。日本で、助産師さんをやるのが夢でしたが、研修に行ってから、私は中国で助産師さんになりたいと思いました。理由は、中国は、とても良い国だということが分かったからだし、中国は日本を支援してくれているから、そのお礼をしたからです。本当にこの1週間の研修は、自分を変えてくれる1週間になりました。楽しかったです。途中少し迷惑をかけてしまいました。本当にすみませんでした。

◆桜馬場中学校2年 S.K.◆

今回はこのような事業に参加させていただきありがとうございました。

私が印象に残った出来事はたくさんあるのですが、特に印象に残ったのは、ホームステイです。私の夢は通訳で、英語も習っています。でも、実際にプライベートで外国人に声をかけられたりすると、なかなか対応できず、だまりこんでしまうということがありました。その後に情けなくて、自分にガッカリしてしまったので、今回のホームステイは、「ちゃんとできるかな?」「ちゃんと答えられるかな?」と不安で不安でたまらなかったけど、

一緒にホームステイをした友達や、ホームステイの方々が分かりやすくしてくれたり、サポートもありながら、何事もなく無事にホームステイを終えることができました。今回のホームステイで気づいたことは、きちんとした英文で答えられたことです。とても自信につながりました。そして、ホームステイ生活が終わったとき、お互い寂しくて涙を流しました。「またメールでやりとりしようね」と約束をして別れました。今回経験したことや、学んだこと、思った気持ちは、絶対に忘れられない特別な思い出になりました。今後の習いごとや学校の授業などにも生かしたいと思います。また、万里の長城や、紫禁城、頤和園などのような歴史的な建物をたくさん見ることができ、とても勉強になりました。上海は、北京や中山とはちがい、現代的な建物が多いように感じました。とても都会的だと思いました。

私の祖父は6年前に亡くなっていますが、私の祖父は中国が大好きで8回も訪れていたそうです。きっと天国から見守り、そして喜んでくれていたと思います。この事業に参加する前、中国に対してあまり良くないイメージを持っていましたが、今回来てみて、イメージがガラッと変わり、人柄もよく、街並みにもぎやかですごく良いところなんだと祖父の思いもかさねて、理解することが出来ました。今回のゆめ体験に声をかけてくれた学校の先生、仲間、応援してくれた友達、家族、そしてなにより、引率して下さったみなさまに感謝しています。本当にありがとうございました。

◆長崎東中学校3年 M. K. ◆

わたしがこのゆめ体験で印象に残ったことは2つあります。

1つは華僑中学への訪問と学生との交流です。華僑中を訪問して驚いたことは学校の大きさ、広さと教室の数が多かったことです。自分の通っている学校でも大きい方だと思っていましたが、それを超えるくらい大きさでした。また、全校生徒の人数がとても多いことにも驚きました。学生との交流では、相手も少ししか英語を話せなかったのとまどいでしたが、なんとか自分の知っている単語を使って楽しい交流をすることができました。ホームステイでは家の方がとても優しくわたしたちを気遣ってくれたのでよかったです。しかし、お母さんとお父さんは英語が全く話せなかったのでジェスチャーなどを使ってコミュニケーションをとることができました。現地の人との交流を通して自分の英語のスキルも少し高くなった気がします。また、ジェスチャーを使って会話することも大切だと知りました。

2つめは、万里の長城に行ったことです。わたしは、初めて世界遺産に行くことができました。うれしかったです。万里の長城では中国の自然の雄大さを肌で感じることができました。とても涼しくて天気もよかったので景色がきれいでした。今回は時間がなくて8つの関所のうち5つめまでしか行くことができなかったのですが、次中国に行ったときはぜひ8つ全てを登りきりたいです。登っているときは本当にこれは人が作ったのかな？と思いながらあらためて昔の人の偉大さに気付かされました。男坂にも挑戦してみたいです！

このゆめ体験を通して行く前よりも英語を積極的に話したり食べたことない中華料理などにも挑戦できてたくさんのことを得ることができました。今まで海外に行っても親の後ろにかくれたり友だちに頼りきってしまうことばかりでした。しかし、この体験を通して自分から積極的に話しかけることやいろいろなことに挑戦することの大切さを学ぶことができました。

これからは、この学んだことをこれからの生活にしっかり生かしていき、自分の将来の夢を達成することができるように頑張っていきたいです。最後に、今回引率してくれた前田課長、奥野さん、林さん、辻先生、本村先生、池田さん、本当にありがとうございました。

◆桜馬場中学校2年 R. K. ◆

最初は中国に行くのは、とても不安でしたが中国についたら親切な方々がいっぱいいたので安心しました。私が一番印象に残っているものは8月24日に見た上海雑技団です。日本ではなかなか見ることのできない雑技団ですが、上海で見たときはその迫力のある演技に圧倒されました。また、中国へ行く機会があるなら次は家族に見せてあげるような感じで私も見たいです。

ホームステイも楽しかったです。日本とは違う家のつくりや環境に最初はびっくりしすぎて慣れませんでした。2日目になるとホストファミリーの優しさのおかげでとても馴染むことが出来ました。その他、北京にある日本大使館や万里の長城など中国の歴史をたくさん学ぶことができました。

今回の中国での活動では初海外でいろいろ大変なこともあったけれどもいい思い出となりました。これからの海外にまつわる行事などに積極的に参加していきたいと思います。

◆梅香崎中学校3年 R. S. ◆

8日間の現地研修の中では、いろいろな体験をして成長することができました。特に印象に残っていることはホームステイをしたことです。お互いに英語を使っただけのときがほとんどでしたが、気持ちや言いたいことが通じないことがたくさんありました。どうしても分からなくて、スマートフォンの翻訳機能に頼ることもありました。その分、通じたときの喜びはとても大きいものだったし、挑戦する大切さを知ることができました。ホストファミリーにも、ご飯を作ってもらったり、ドライヤーを貸してくれたり、ショッピングモールにつれていってくれたり、さまざまなことをしてもらいました。そんなすばらしい人たちと出会うことができよかったです。

中国と日本の関係がとても強いということも知ることができました。中山市役所や日本大使館、JICAなどを訪問して、たくさんの方が中国と日本のかけ橋になっていることに感動しました。市内の見学では万里の長城と上海雑技が心に残りました。万里の長城では、まずあの長さに圧倒されました。日本列島の2倍もあり、人工衛星から唯一見える人工建築物と聞いて、そんなすごいところに来たんだなと思いました。とても急な坂や階段を上って行ったり、友だちとっしょに写真を撮ったり、長い歴史を楽しみながら感じる事ができました。上海雑技は初めて見ました。ガイドさんがとてもすごいと言っていたので、楽しみにしていったら、本当にその通りでした。人間とは思えないくらい力もちで動きもすごかったです。いつか、また中国に行って今回見学した場所やそれ以外の場所も訪れてみたいと思いました。

自分自身が変わったところもありました。それは、友だちを自分からつくる事ができたことです。普段は消極的で友だちをつくる事が得意ではないので、現地研修で友だちができるか少し不安な部分がありました。私のペアは西浦上中学校3年のS. T. さんでし

た。空港までのバスでとなりの席に座りましたが会話がありませんでした。少ししてから自分から話しかけてみると、部活が私と同じ吹奏楽部であることが分かって、そこから話を広げていくことができました。ほかにも同じDグループの人たちとも話すことができましたし、その他の人とも言葉を交わすことができました。自分から話しかけて仲良くなれたことはとてもうれしかったし、これから活かしていこうと思いました。

以上のように、いろいろなことを学ぶことができた現地研修になりました。今回、子どもゆめ体験に応募したきっかけは、さまざまな人とコミュニケーションをとることや中国のさまざまな景色（特に近代化が進む都市）を見ることでしたが、それを超えるくらいさまざまな体験ができました。ゆめ体験に参加することができて本当によかったです。今回学んだことを無駄にせず、たくさんの人に伝えて、これからの生活に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

◆東長崎中学校1年 M. S. ◆

現地研修を終えて、とても中国に対するイメージが変わりました。中国の方々が、優しく、全く空気も悪くなく、パクッているお菓子もそんなになく、「あれ、中国ってこんな良いところだったんだ」ということを日本に帰ってきて、とても実感しました。私は、かなり中国に偏見を持ってました。やっぱり、現地に行かないと分からないことだったので、すごいよかったです(^o^)

中国といたら…「万里の長城」というイメージが私の頭の中にあります。そんな万里の長城に登れて、嬉しかったですし、景色がとても綺麗でいやされました。また、豫園で、お買い物ができる生まれて初めて値切りをしました。日本では、全くできないので、いい体験になりました。

また、学んだことはたくさんあります。特に、ホームステイのときです。私はそんなに英語をはなせません。はなしたいことがある時は、訳すアプリを使用しました。でも、そのアプリがない時に伝えたいことがありました。その時は、一生懸命かたことな英語と、ジェスチャーと、伝わってという思いをのせながらはなしました。そしたら、なんと伝わりました。きっと、相手も「分かれよう」と思ってくれたと思います。その時、心で伝わる何かがあるなと思いました。

私は、はなせる英語でも、はずかしくて、あまり自らはなせませんでした。でも、この体験では、はずかしさを捨てて英語をはなすことができ、自分の自信にすこしはつながったと思います。

今後やってみたいことは、積極的に、このような体験に応募し、自分の夢に1歩でも近づけるようにしたいです。

また、外国の方々とも、もっと積極的に交流し、言葉の壁があっても、つながりたいと思っています。

この体験で私は、なにかもが初めてのことで、分からないことだらけ、心配もちよっとあったりと、色々ありました。でも友達ができたら、そんな心配ごとは、どっかにとんでいきました。「友達ってやっぱりいいな」と心の底から思える7泊8日でした。また、すこしは、積極的に活動ができるようにし、これからの学校生活を頑張ります。この体験でひとまわり大きくなれたように思いました。

◆長崎東中学校3年 J. T. ◆

私が現地研修で印象に残っているところは、万里の長城と上海雑技です。この2つは、私が前々から行ってみたかった、見てみたかったので、印象的でした。

万里の長城では、まず最初にそのスケールの大きさに驚きました。昔の人々がこれを作ったのかと思うと、どれだけ大変だったかが、よく伝わりました。私は男坂を選びましたが、思っていたよりは苦勞をしませんでした。きついというよりは楽しいという気持ちの方が多かったような気がします。本当にいけてよかったと思っています。

上海雑技は、もう素晴らしいとしかいことがないほどすごかったです。緊張感のあるアクロバットの中にユーモアあふれる演目がふくまれていて観客の心をつかむ演出だと思いました。私は特に4本の棒の上で逆立ちとかしてるのが印象に残っています。

私はこの研修で得たものが2つあると思っています。それは、当初の目標である“積極性”と“コミュニケーション能力”です。

今回この体験に参加することで普段はできない体験ができました。初めての海外。そして、初めて7泊8日という長い期間親元を離れました。参加者の約4分の3が知らない人ということで初めは緊張していましたが、目標である2つの力を得るため努力しました。そのおかげで、参加者のほとんどとは仲良くなれたような気がします。ホームステイでも、言葉が通じない中、どうやったらコミュニケーションがとれるか、試行錯誤しました。その結果ジェスチャーなどを通してならある程度は気持ちは通じることがわかりました。ホームステイ先には5歳の子どももいて、その子とも仲良くなることができました。

また、さまざまな活動を通して積極性も身に着けられました。先生や国際課の方々にたくさん質問できました。豫園では、人生で初めて“値切り”という体験をしました。合計で100元以上できたのでうれしかったし、楽しかったです。

研修では、さまざまなことが学べたし、貴重な体験ができました。中国にも興味がわいたので、将来必ずまた来たいと思います。

この研修で得たものをこれからの生活、または将来に生かせるように精一杯努力しようと思います。

◆精道三川台中学校3年 Y. T. ◆

僕は今回中国へ行き、たくさんの感動を覚えました。僕が感動を覚えたことはたくさんありますが、その中でも食事のマナーやホームステイはとても印象に残りました。例えば食事の場合、机は丸い円卓で、さらにその中に回るテーブルがあり、そのまわるテーブルにおかずがのっているのですが、回るテーブルは時計回りにゆっくりと回さなければなりません。また、食器を全て水で洗わなければなりませんでしたし、立って料理を取ってはいけないというルールがあるなど、日本にはないルールが多くありました。ホストブラザーから「日本食はルールが多くて大変そう」と言われましたが、「中国のほうが大変だ」と内心思いました。食事のマナーというのは当たり前すぎて少し苦勞しましたが、これも良い勉強になりました。

また、中国のホームステイは今回が初めてでしたが、中国はあまり良い印象ではなかったのでとても緊張していました。しかし今ではメールでやりとりするぐらいの仲の良い友達になれました。僕のホストブラザーのソウ君はとてもフレンドリーで公用語に英語を使

っているのかなと疑ってしまうぐらい上手でした。最初はお互い緊張していましたが、だんだんお互い勇気を出してしゃべるようになり、別れの日が悲しくなるぐらい仲良くなれました。そして僕が今回の研修で学んだことは、やってみないと分からないということと、はじめの一步の大切さです。

もし仮に勇気がなく、ホストファミリーと話せなかったり、値段を尋ねることが怖くて買い物ができなければ、あまり学ぶことはできませんでした。しかし、最初の一步の勇気を出せば、中国に行ったということだけでなく、より有意義な時間を過ごすことができるのだと実感しました。最初に勇気を出して、少しでも質問したことが、ホストブラザーと仲良くなれた理由だと思います。また、この体験をこれで終わらせるのではなく、これから先、この体験で学んだことを決して忘れず、そして、この体験で学んだことを皆に伝えていきたいと思います。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

◆桜馬場中学校2年 R. T. ◆

子どもゆめ体験の事業に参加して、直接現地の人及び華僑中学校の生徒と接し、中国と日本の長い歴史はもちろんのこと、現在の流行などを学び知ることができました。私はこのような事業に参加するのは初めてで、最初、不安でいっぱいでしたが、事前研修で同じ班の人たちと接することで少しずつ緊張もほぐれて、不安でいっぱいだった気持ちがとても軽くなって、「楽しみ」という気持ちに変わっていきました。

まず、中国に行って感じたことは、現地の方々が私たち日本人にとっても優しく、親切に接して下さった事でした。今回この事業に参加するにあたり、両国の歴史について事前に学習しました。かつて両国には戦争にまつわる悲しい歴史がありました。それにもかかわらず、訪れたすべての方々があたたかくむかえて下さった事が印象に残っています。

それから中国の文化の中で興味深かったのが食事についてです。「中華料理」と一言言っても料理の種類や味付け、食べる時のマナーなどが地域によって違うということが印象に残っています。

次に中国人の中学生の生活を深く知ることができたのはホームステイでした。レストランで出てくるような食事ばかりでなく、現地の方がいつも食べるような家庭の味を食べて知ることができましたし、現地の方の家のつくりや生活のしかたを間近で体験することができて、とても良い経験になりました。私がホームステイさせていただいた家では、すべてのベッドに日本でいう蚊帳のようなものを取りつけてあったことに驚きました。ホストファミリーもとても親切で、2日目の夜にはピアノをひいてもらったり、一緒に歌を歌ったりと、とても楽しい思い出をつくることができました。

さらに普段、テレビでしか見たことがない、天安門広場や万里の長城などにも訪問したことで、目で耳で肌で中国の歴史と文化を学ぶことができました。そして、普段は入れないような在中国日本大使館やJICA、中山市役所などを訪問して、日本と中国の国際的な関わりについて学ぶことができました。7泊8日の長い研修のうちに参加したメンバー内での交流も深まっていき特に万里の長城に登るときや豫園商城での買い物では班の人たちと協力し合い、仲を深めることができました。

海外旅行、ホームステイなど初体験ばかりで驚くことが多かったですが、すべてが楽しく貴重なものになりました。私はこの体験を通して、将来自分が外国と日本をつないでいく架け橋のような存在になりたいと思いました。

◆西浦上中学校3年 S. T. ◆

今回の研修を通して、いい意味で期待を裏切ってくれたことと、少々残念だったことが2つずつあります。1つ目は、中国の方々は、少々おおざっぱだったということです。並んでいても横からわり込んできたり、排水を道路に捨てたり、料理店でスープをついでくださった時におわんを持たずにつぐため、テーブルクロスや服にはねたりしました。日本とは少し違って最初は驚きましたが、中国では当たり前に行われているものなんだと分かり、文化の違いの1つだと感じました。2つ目は、クラクションの多さです。1日に最低10回はきいたと思います。

しかし、実際に交流した方たちは、そうではありませんでした。ホームステイ先の女の子は、少しおとなしめの子でしたが、ジェスチャーやアプリを使って一生けん命私たちに教えようとしてくれました。また、英語でていねいに説明してくれましたが、残念ながら、私は英語が得意ではなかったので、全く分からずに困らせてしまいました。家族の方は、いつも笑顔で面白くて、すごくいい家族なんだと感じました。短い間でしたが、私たちのために色々なところに連れて行ってくれたし、プレゼントももらいました。

そこで気づいたことは、言葉が通じなくても、本気で伝えようという強い気持ちがあれば、しっかりと伝わるんだということです。また、伝えようと少しずつ中国語を交えて話ができるようにもなりました。それと同時に、英語の大切さ重要性を初めて感じました。英語がニガテなうえ、あまり進んで英語の勉強をしていなかったし、英語の必要性にあまり気づいていなかった自分が少し恥ずかしくなりました。

JICA を訪問した際に「世界を変える」という仕事にやっとなめぐりあえたと思いました。私の夢は、「中国語」を生かして「世界を変える」という仕事です。まだ英語も完ペキじゃないけど、今からしっかり勉強して将来は、立派な大人になれるようにします。秋吉さんと同じように中国の方々に恩返しができたらなと思います。

今回の研修で自分の将来の夢と英語の重要性、また、伝えようとする強い気持ちに気づくことができました。この貴重なたいけんをありがとうございました。

◆活水中学校3年 K. T. ◆

私は、もともと中国に関心があり、今回の「子ども夢体験」には自分から応募しました。合格した時は本当に嬉しく、「大好きな中国へようやく行くことができる」と、出発日である8月18日が楽しみで仕方がありませんでした。そのため、他の人よりも中国へ行く、ということに対する不安や悩みは少なかったと思いますが、しかし、そんな私にもある不安がありました。それは、中国人は親切なのだろうか、というものです。勿論、中国が好きで私は中国人はみんな親切だと信じたい気持ちはありましたがニュースやネットでは「中国人はルールを守らず、自分中心の人が多いため親切ではない」等の情報があり、もしも本当に周りがそんな人達だらけだったら…と不安でした。しかし、実際はそのようなことはなく、華僑中学校の生徒の人達をはじめ、みんな本当に親切で、心の優しい人達ばかりでした。そのことを知り、今まで以上に中国と、そして中国人が大好きになりました。

中国で過ごした約1週間、毎日が楽しく充実していました。特に印象に残ったのが、2日目の華僑中学校訪問です。出発前から、近い年齢の中国人と交流ができる、また日本と異なる中学校の様子などを知ることができる、と中国を訪れるなかで一番楽しみでした。

帰国後の今でもやはり、華僑中での思い出は、最も大切な宝物です。華僑中はまるで大学のように広く、また、普通はいないであろう鯉がたくさん池で泳いでいたり対面及び交流会では、ゲームを通じて、一緒に笑いあったり、短い自己紹介をしたりなど、楽しい時間をお互い過ごすことができました。はじめは、何を話せばいいのか、そして果して何もかもが異なる人達と仲良くなれるのか、と少し戸惑いと緊張がありました。ですが、いざ交流のゲームが始まると、言葉は通じていないし、相手が中国語で何を言っているのか分からないけれど、自然と、私を含めみんな笑顔になりました。つい何十分か前に初めて会った人達、ということをお忘れそうなほど本当に楽しく、深い交流をすることができました。

今回、中国を自分の目で見る、ということによって様々な事を学ぶことができました。ニュースなどで報道される「中国」とはほぼ真逆の国でした。実際に行って現地の本当の姿を知るということは大切だと感じました。そして、この体験で、私には一つ夢ができました。それは「いつか海外へ行って様々な人々と深く交流をする」という夢です。この「いつか」が来るのは、何年先かわかりませんし、まだ漠然とした夢ではありますが、この夢に向かって努力していきたいと思います。

◆東長崎中学校3年 S. N. ◆

中国に行ってみて、大都会でたくさんの文化があつてとてもおもしろい所でした。僕の中国での第一印象は中山市で行ったホームステイです。自分の家には何回も外国人がホームステイしてきた事があつたけど、する側は初めてだったので、とても緊張しました。だけど、ホストファミリーはいつも笑顔で接してくれたり、僕達が体調を崩さないように気遣ったりしてくれました。本当に優しい方々で今でもとても感謝しています。そして、自分の英語力がとても低く、気持ちが中々伝わりませんでした。もっと勉強しないといけないと思いました。

そして、僕が一番行きたかった「西遊記」に出てきた万里の長城に行きました。そこには、斜面が急な男坂となだらかな女坂がありました。僕は人が少ない男坂に行きました。そこは自分の想像をはるかに上回るものでした。60°くらいのとても急な坂で、階段はまるでハシゴのようでした。でも、上に着いたらすばらしい景色がありました。そこには、延々と続く万里の長城がありました。

僕は中国に行って1つの勘違いがありました。それは、そこの人達は恐ろしいと思っていました。本当は最初は無事に帰ってこれるかとても不安でした。だけど、現地の人達と交流してみると優しい方々ばかりでした。そこで僕は新たな考えができました。TVかネットであげているもので判断するのではなく、そんな狭い視野で見らず、広い視野で見て悪い人ばかりではないという事を他の人にもわかってほしいと思いました。

そして、添乗員さん、引率の方々の考えて下さった計画のおかげで僕達は元気で帰ってこられました。この子ども夢体験で貴重な体験をさせていただきありがとうございました。もっと世界の事を学んでいきたいと思いました。

◆西浦上中学校1年 H. M. ◆

私は今回の現地研修で印象に残っていることは3つあります。

1つ目は中国雑技団を見たことです。大きいつぼを頭の上で回したり、高いところまで

飛んだり、本当に人間なのかととても驚かされました。

そして2つ目は万里の長城です。私はN. Y.さんと登りましたが、時間が無い中走って登り時間内に戻ってくることができました。これは、普通の道で階段や坂が多い長崎だからこそだと思います。

3つ目はホームステイです。やっぱり日本ではありえないようなことをしたりすることがあり嫌だなと思うことも多々ありました。でも私達と別れる時に泣いてくれて私も少しだけさみしいと思えるようになっていました。

今の世の中では英語を話すことは当たり前でこの体験を通し「英語をもっとがんばろう。」と思い、このあいだ先生にも「聞きとりができるようになってる。」と言われました。いずれ自分の夢にもつながると思います。このゆめ体験に参加して良かったです。

◆小江原中学校2年 M. M. ◆

「すばらしいところを見つけました。」

中国は、広くて・大きくて・人がとにかくたくさんいました。道に自転車が止められてましたがものすごい数の同じ自転車がきれいに整列してました。中国は、万里の長城や紫禁城など昔の建物がそのままの状態に残されていました。その一方で、華僑中学校などはとても近代的な作りで、同じ中学生なのに英語でどんどん話してました。

日本では、時間通りにバスが来て飛行機も離陸します。空港での荷物の扱いもとても丁寧です。これはものすごいことだとわかりました。おみやげなどの商品の値段がどのお店もほぼ同じです。これも外国の観光客に対する優しさだと思います。水道の水が飲め、空気がきれいなのでマスクもいりません。日本は美しい国だと思いました。

「見ました。」

万里の長城は、とにかく頑丈で大きくて、大きな機械がない時代に人間の力でよく作れたと思います。時間がなくて頂上まで行けなかったのが残念でした。

中国雑技は、ランタンフェスティバルで見る内容よりももっともっとすごかったです。

「伝えました。」

ホームステイのお宅で、日本の抹茶とお菓子を食べてもらいました。抹茶は、心をこめてたてました。苦さにびっくりしたようですが、お母さんはおかわりをして2杯飲んでくれました。とてもうれしかったです。私が大好きな和菓子は苦手だったようです。日本のことを少しでも知ってもらえた気がしています。

「食べました。」

北京ダックもお菓子もとてもおいしかったです。持って行ったカップラーメンを食べることはありませんでした。驚いたことに毎食炭酸のジュースとスイカが出ました。中国の人は炭酸ジュースが好きなのか？私たちのことを思ってくれたのか？わかりません。ホームステイのお宅の朝食で鹿児島ラーメンが出ました。これはきっと私たちが喜ぶだろうと考えてわざわざ買って出してくれたのだと思います。私たちを喜ばせたい気持ちがわかってとてもうれしかったです。

「わかりました。」

実際に自分の目で見・耳で聞くことの大切さがわかりました。中国だけでなく日本の素晴らしいところもを見つけました。これからもいろいろな経験をしていきたいです。

◆長崎東中学校 1年 Y. M. ◆

ぼくは、現地研修の前までは、中国に対して悪いイメージを持っていました。具体的には、空気がきたない、中国人に対するイメージが悪い、安全面への心配などが挙げられます。しかし、7泊8日中国で過ごして、悪いイメージは無くなりました。ここからは、中国に対する考えががらりと変わった7泊8日の現地研修をふり返っていきます。

まず、現地研修前に持っていた中国の悪いイメージについて、実際はどうだったかふり返ります。1つ目の空気がきたないのではないかという心配については、日本と比べると中国の方がきたなかったですが、テレビで見るようなおおげさなきたなさではなく、マスク無しでふつうに生活できる程度でした。2つ目の中国人に対して持っていた悪いイメージについては、売り人のようなよく分からない人も一部にいたものの、ホストファミリーはとても優しく世話をしてくれましたし、1人の中国人である林さんも優しくてすごい人だと感じました。また、3つ目の安全面への心配については、日本と比べると少し悪く思えるかもしれませんが、生活に目立った支障は無く、良かったと思います。同じようなことで、水や食の不安もありましたが、水道水が飲めないというのは多くの国と同じことで、食に心配はならず、それ以上にとてもおいしかったです。

次に、その他の現地研修で印象に残っていること3つをふり返ります。1つ目は、ホームステイです。華僑中学との交流についても同じことが言えますが、ここでは言葉の通じ合わない人同士が慣れない英語で会話をする必要がありました。自分は、中1の1学期だけの英語のレベルで会話しなければなりませんでした。ほぼ、相手が何を言っているのか、自分が何を言えばいいのか分かりませんでした。しかし、極一部、分かたり伝えられたりできたことがありその時の喜びは特別なものでした。また、翻訳アプリにとっても助けられ、便利だと思いました。2つ目は、3つの表敬訪問です。どれもここでしかできない体験だったと思いますが、特に JICA の秋吉隊員の話は興味深いものでしたし、国際協力をしてみたいという気持ちもわきました。3つ目は、お店での買い物です。前に売り人はよく分からないと書きましたが、そこにも良さはありました。それはかけ引きです。よく分からないことからおもしろさがわきましたし、値切られる時の楽しさは、印象に残っています。

ふり返ると、ぼくが持っていた中国に対する悪いイメージは「偏見」と思え、そんな自分を情けなく感じます。これからは、実際に体感した中国の良さを多くの人に伝えていきたいです。また、そんな「偏見」を無くすことが国際協力の第1歩だと思います。

◆活水中学校 3年 N. Y. ◆

私が中国に着いてまず感じたこと。それは人口の多さと土地の広大さです。日本にいる時から人口が多いことや土地が広いことを知っていましたが、想像以上の人口の多さと土地の広大さにとても驚きました。日本の小ささを改めて感じた瞬間でした。

私には、中国に行って自分で見聞きして確かめたいことがありました。それは“多くの日本人が持つ中国に対しての良くないイメージは本当なのか”という事です。なぜか日本人には「中国人だから～」とあって中国に偏見を持つ人が多いのです。私はよく港に観光船が来航すると出航する日にお見送りに行くのですが、確かに中国人の方の中には時間にルーズだったり、ちゃんと列に並ばなかったりと人の迷惑になる行為をする人もいました。

しかし、それは日本人にもありえることで、そこだけを見て「中国人は～」と言うのは違うと思います。そのため、実際に現地で過ごし多くの中国の方と出会うことで考えてみたかったのです。約1週間の研修でしたが考えなくても良いくらい、中国の方は優しく温かい方々ばかりでした。

一番それを感じたのはホームステイの時です。中国語が理解できない私に英語で沢山話しかけてくださったり日本語を調べて日本語で話して下さったりととても優しく接して下さいました。この瞬間、私の中国に対するマイナスのイメージがプラスに変わりました。それと同時に、中国はこんなにも素敵な国なのに、なぜ偏見を持つのか不思議に思いました。

私はここから、うわさや見た目だけで判断せず、実際に見て、聞くこと、そして国際的な視野を広げることが重要だと感じました。

私は今回の研修でこの事だけを学んで帰国した訳ではありません。中国の伝統・文化、中国という国のすばらしさだけでなく、協調性、礼儀やマナー、そして中国と日本の重要な架け橋となる仕事の大切さを知り学びました。私はこれから将来への道を歩いていく上でこの子どもゆめ体験で学んだことを1つたりとも無駄にせず、自分の知識の中に取りこみ、国際性豊かな人材として国際社会の中で輝くことが出来るように精一杯努力したいと思います。また、今回の研修で得た情報を自分だけのものにせず周りの人にも発信していきたいです。

最後になりましたが、時間やスケジュールの調整、現地でのサポートまでいろいろなことをして下さいました前田課長をはじめ国際課のみなさま、添乗員さん、現地の方々、そして共に学び過ごした24名の仲間感謝します。

貴重な体験をありがとうございました。谢谢！

◆長崎東中学校3年 R. Y. ◆

私はこの研修に参加したことで、旅行や観光ではなく、研修でしかできないような貴重な体験をすることができました。

研修の中で、一番学ぶことが多かったのは、やはり華僑中学校の生徒のみなさんとの交流、そしてホームステイのときでした。華僑中学校のみなさんは、とても積極的で、英語でスピーチするときにもはきはきと話している印象がありました。しかし、私たちの班の人はおとなしい人が多かったせいか、一緒にレストランでごはんを食べたときにもあまり会話がありませんでした。私も自分から話しかけたことはありましたが、声が小さかったせいか伝わらず、結局スマートフォンの翻訳機能にたよってしまいました。ホストファミリーと交流した時もかなりその機能を使ったときが多かったです。しかし、私が自分から話してみたことで会話が盛りあがったときもあり、その時はとてもうれしかったです。9月にまた交流する機会があるので、その時には8月には聞き逃してしまったことも質問したいと思います。中国の方と交流する中で、中国では日本のアニメやキャラクターがとても人気があるのだと感じました。日本のアニメを知っているか尋ねられることは多かったのですが、私はアニメには無知だったので、いまいち話がつながらず、申し訳ない思いをしました。また、私が持っていたサンリオのキャラクターを見せると、のっていたキャラクターのほとんど知っていたことにとっても驚きました。私たちが思っている以上に日本のアニメやキャラクターは中国で人気があるのだと感じました。そして、ホームステイでは

日本とは違う生活スタイルや食事の習慣を体験させてもらい、国と国の文化の違いについて興味を持つようになりました。特に興味深かったのが、家の中でも床は外の地面のような扱いになるところです。日本では玄関で靴を脱ぎ、リビングで床に座ってテレビを見たりするので、それが当たり前のように感じていましたが、実は日本の独特な文化なのだと思います。やはり、自分の国とは違う生活をするのは大変で、多少戸惑うこともありましたが、グローバル化が進んでいく現代で外国の文化を理解することは大切なので、今回の体験は貴重な学習の場にもなったと思います。今回学んだ中国の文化を友達や、11月に全校生徒の前で研修の報告会をする時などで伝えていきたいと考えています。

また、私が楽しみにしていた中国の建造物は期待を裏切らないものでした。中国は、さすが面積が世界第三位というだけあり、一つ一つの建造物の規模が大きかったです。特に万里の長城は永遠に続いている道に圧倒されました。調べた通り、万里の長城はただ長いだけでなく、山の斜面に沿って少し曲線になっている様子や、均等に配置されている狼煙とうなどは、芸術性にあふれていました。また、上の方からの景色もとてもきれいでした。私は男坂のほうに登り、女坂を見下ろす形になったので、よりいい景色が見れたと思います。しかし、傾斜が急すぎて特に下りるときがとても恐かったです。あとで調べたところ、一番急だと感じた階段は傾斜が60°もあったようです。昔、どのようにしてこの長城が作られたのか、関心を持つようになりました。これから発表する機会もあるので、より深く調べていきたいと思います。

日本では見ることのできない中国の壮大な建造物を見たいと思い参加したこの研修では、想像以上に素晴らしい多くの建物や庭園の数々を見ることができ、本当に良かったです。また、建物だけでなく、ホームステイや華僑中学訪問などから中国の文化と日本の文化の違いにも興味を持つようになりました。これからも様々なことに興味を持って生活していきたいです。そして、この研修で学んだことを自分の将来の夢へ役立てられるようにしていきたいと思います。

◆長崎東中学校3年 C. Y. ◆

中国は、とても長崎に近い国で、長崎にも中国の歴史、文化を感じられるところはたくさんあると言える程、つながりの強い国です。ですが私はそんな中国へ行ったことがなかったので、とても現地研修が楽しく、同時に、とても難しく感じるが多かったです。まず、印象に残ったものとして、1つ目は、ホームステイです。ホームステイは、一番、中国の人とコミュニケーションを身近にとれる機会だったので、とても勉強になりました。実は、英語は話せる人と話せない人がいて、コミュニケーションを取るのは、とても難しかったです。でも、スマートフォンのアプリを使って話したり、簡単な英語を使って話したりして、それぞれで相手を理解しようとし、楽しい3日間を過ごすことができました。このことで、コミュニケーションをとる術はただ話す、ということだけでなく、相手を理解しようとする姿勢が大切なのだ学ぶことができました。2つ目は、万里の長城、紫禁城、頤和園といった遺産の見学についてです。これらの3つの遺産はとても歴史を感じさせるほど迫力があり、同時に、昔の中国の進んだ技術、文化を感じることができる場所でした。特に万里の長城では、明の時代に作られたと思えないほどの長い道や建物の石の積み方など、昔の文化から、今、たくさん学べるのだと改めて実感することができました。また、私たちが普段、社会の教科書で見かけるものもたくさんあって、教科書

だけで、分かっているようで全く分かっていなかった、中国の遺産のスケールの大きさを
知ることができて、とても面白かったです。3つ目は、中国の全体についてです。私は、中
国に対してあまり良いイメージは持っていませんでした。空気が悪いということであつた
り、食品、領土についての問題があつたりと、そんな悪いイメージばかりが強かったです。
しかし、現地に行ってみると、イメージは、すぐに変わりました。「谢谢」といったら、普
通に笑顔で返してくれたり、空気は少し曇っているところもあつたけど、日本と変わら
ないところが多かつたからです。だから、日本人は中国に対する、2つ、3つの情報だけで、
その国のイメージを決めすぎているのではないかと思います。でも、そんなたくさんの良
い面があることと裏腹に領土問題があることも事実です。だからこそ、領事館でリュウア
メイさんがおっしゃったように、日中関係の未来は私たちにあると思ひました。私たち
の中国に対するイメージ、考え方だけで、日中関係の未来は、暗くも明るくもなると思
うので、良い未来を作り出せるように、もっと中国、日本の見方を変えて、より良い日中関係
を私たちが築いていけたらと思ひます。

